

「山城町上狛地区の京力農場プランの実質化に向けた取り組みについて」

京都府 木津川市農業委員会 上狛地区連絡会議

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

| | |
|----------------|------------------------------------|
| ○ 農業委員： | 19人 |
| ○ 農地利用最適化推進委員： | 18人 |
| ○ 事務局職員： | 5人 |
| ○ 市町村行政との連携状況： | 16地区のプラン作成に向け市担当者と事務局、委員等が連携し会議を開催 |



2 地区の特徴、状況、課題

- 木津川市は、京都府南部の旧3町が合併した市で、上狛地区は、市内有数の広大な優良農地
- 地域は、木津川沿いに広大な畑地と圃場整備された水田が広がり、多様な農業が営まれている
- 圃場整備された水田に遊休地が見られるが、地域の担い手に農地を集約することで解消を進めている

3 委員による継続した話し合いの取組内容

当初、旧3町毎に地区連絡会議を発足させた。高齢化による担い手不足については、どこも同じ悩みであるが、平地部、山間部で水稻、軟弱野菜、お茶、タケノコ等、生産品が異なり、又、有害鳥獣対策等、地域で抱える問題が異なることから活発な会議ができなかった。今回、京力農場プランの実質化の取組と併せて、JAの地域営農ビジョンの策定も含めた地域での話し合いを16地域で順次実施しており、今後、各地域の取組を地区連絡会議や推進会議等において、事例報告等、情報交換して頂き、今後の地域の取り組みに活かされるよう進めたい。

4 成果（京力農場プランの目標実現に向けた取組内容）

令和2年8月に京力農場プランの実質化の取組をスタート。地元農業委員・推進委員に加えて、現地推進役、普及センター、JAで協議を行い、地図での現状把握とアンケート調査項目の検討後、アンケート調査を実施。今後、上狛地区の若手農業者グループ「農盛会」で、今後の地域農業のあり方、課題等について話し合い、意見集約後、地区のプランの素案を作成し、素案をベースに地元農業者で話し合いプランを作成する予定。その都度、話し合いにより時点修正を実施予定。